

天神地祇恨ヲ含給ヒケルニヤ、春夏ハ炎旱夥、秋冬ハ大風洪水不斜、懇ニ東作ノ勤ヲ致ナガラ、室西收ノ營絕ニケリ、三月雨風起、麥苗不秀、多黃死、九月霜降、秋早寒、禾穗未熟、皆青乾、ト云本文アリ、加様ニヨカラヌ事ノミ在シカバ、天下大ニ飢饉シテ、人民多餓死、ニ及ベリ、僅ニ生ル者モ、或ハ地ヲステ境ヲ出、此コ彼コニ行、或ハ妻子ヲ忘テ、山野ニ流浪人巷ニ伶俜、憂ノ音耳ニ滿リ、角テ年モ、暮ニキ、明年ハサリトモ立直ル事モヤト思ヒシ程ニ、今年ハ又疫癆サヘ打副テ、飢テモ死、病テモ死ヌ、ヒタスラ思ヒ侘テ、事宜キ様シタル人モ、形ヲ窄シ、様ヲ隱シテ詔ヒ行ク、去ガトスレバ、軀テ倒臥テ死ヌ、路頭ニ死人ノオホキ事筈ヲ亂セルガ如シ、サレバ馬車モ死人ノ上ヲ通ル、臭香京中ニ充滿テ、道行人モ不輒、懸リケレバ、餘ニ餓死ニ責ラレテ、人ノ家ヲ片ハシヨリ壞チテ、市ニ持出ツ、薪ノ料ニ賣ケリ、其中ニ薄朱ナドノ付タルモ有ケリ、是ハ爲方ナキ貧人ガ、古キ佛像率都婆ナドヲ破テ、一旦ノ命ヲ過ントテ、角賣ケルニコソ、誠ニ濁世亂漫ノ折ト云ヒナガラ、心ウカリケル事共也、佛說ニ云、我法滅盡、水旱不調、五穀不熟、疫氣流行、死亡者多、ト佛法王法亡ツ、人民百姓ウレヘケリ、一天ノ亂逆、五穀ノ不熟、金言サラニ不違ケリ、

〔吉記〕治承五年○養和四年五月、參內○中次退出、欲過三條烏丸之處、餓死者八人並首云云、仍不過之、近日死骸殆可云滿道路歟。

〔百練抄安德〕養和元年六月廿八日、近日天下飢饉、餓死者不知其數、僧綱有官之輩有其聞、

〔皇帝紀抄安德〕養和一年○中今年天下飢饉、道路餓死者充滿、開闢以來無此程子細、

〔方丈記〕養和の比かとよ、久しく成てたしかにも覺えず、二年が間世中飢渴して、淺ましき事侍き、或は春夏日でり、或は秋冬大風大水など、よからぬ事共打つてきて、五穀ことぐくみのらず、空しく春耕し、夏うぶるいとなみのみありて、秋刈冬收るぞめきはなし、是によりて國々の民、或は地をすて、堺を出、或は家を忘て山に住、さまぐの御祈はじまりて、なべてならぬ法ども行はれ共、更に其玄るしなし、京のならひなにわざにつけても、みなもとは田舎をこそたのめるに、